

彩雲 2018

第4号 平成30年5月25日
発行者 仁賀保高校広報委員会
担当 2年B組 佐々木伶央
2年B組 猪股咲優樹



●中央支部報告

男子団体 対矢島高校 0-3 敗退
ダブルス 大庭唯都・今井力ペア
全県総体出場
シングルス 大庭唯都
全県総体出場

女子団体 対美術大付属 3-0 勝利
対新屋高校 0-3 敗退
ダブルス 太田流風・木村美優ペア
全県総体出場

●キャプテンからの感想と意気込み



(3年C組 荒生 陽太)

☆感想

全体的に惜敗が多く、非常に悔やまれる試合展開が多かった。しかし、次の全県総体への課題もしっかりと見えた。

☆意気込み

今回の大会で得た課題を解消しつつ、全県総体で悔いが残らないように、1球1球を大切に練習していきたい。

●顧問の先生から感想と意気込み

かなり悔しい思いをした選手もいると思いますが、今後色々なところで頑張ってもらいたいです。最後にひとあばれしてください。

●キャプテンからの感想と意気込み



(3年A組 太田流風)

☆感想

支部大会では、県大会に進めたものの、自分たちが満足する結果になりませんでした。特に自分が、連続失点をした時の気持ちの切り替えができませんでした。

☆意気込み

県大会では、3年生にとって最後の大会となるので悔いが残らないように日々の練習を大切にしていきたいです。

●インタビューし終えての感想

気持ちを切り替えて、さらにいい結果を残してもらいたいです。3年生は、最後の試合になるので悔いが残らないように全力でプレーしてほしいです。